

みずほCustomer Desk Report 2019/11/07号(As of 2019/11/06)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	公示仲値				
	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	109.15	1.1074	120.85	1.2879	0.6889
SYD-NY High	109.19	1.1093	120.90	1.2897	0.6907
SYD-NY Low	108.81	1.1065	120.47	1.2845	0.6869
NY 5:00 PM	108.99	1.1066	120.61	1.2857	0.6884
NY DOW	27,492.56	▲ 0.07	日本2年債	-0.1900	5.00bp
NASDAQ	8,410.63	▲ 24.05	日本10年債	-0.0900	5.00bp
S&P	3,076.78	2.16	米国2年債	1.6116	▲ 0.99bp
日経平均	23,303.82	51.83	米国5年債	1.6303	▲ 2.96bp
TOPIX	1,694.45	0.29	米国10年債	1.8292	▲ 2.65bp
シカゴ日経先物	23,315.00	▲ 30	独10年債	-0.3355	▲ 2.45bp
ロンドンFT	7,396.65	8.57	英10年債	0.7120	▲ 5.90bp
DAX	13,179.89	31.39	豪10年債	1.2470	4.55bp
ハンセン指数	27,688.64	5.24	USDJPY 1M Vol	5.04	▲ 0.09%
上海総合	2,978.60	▲ 12.97	USDJPY 3M Vol	5.83	0.00%
NY金	1,493.10	9.40	USDJPY 6M Vol	6.30	▲ 0.03%
WTI	56.35	▲ 0.88	USDJPY 1M 25RR	-0.70	Yen Call Over
CRB指数	180.51	▲ 1.58	EURJPY 3M Vol	6.38	▲ 0.04%
ドルインデックス	97.94	▲ 0.04	EURJPY 6M Vol	6.73	0.02%

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
11月6日	16:00	独 製造業受注(前月比)	9月 1.3%	0.1%
	17:55	独 マーケットPMI(サービス業/コンジョット)	10月 51.6/48.9	51.2/48.6
	18:30	欧 メルシュECB専務理事 講演	-	-
	19:00	欧 小売売上高(前月比)	9月 0.1%	0.0%
	22:00	米 エバンス・シカゴ連銀総裁 講演	-	-
	23:30	米 ウィリアムズ・サンフランシスコ連銀総裁 講演	-	-
11月7日	05:15	米 ハーカー・フィラデルフィア連銀総裁 講演	-	-

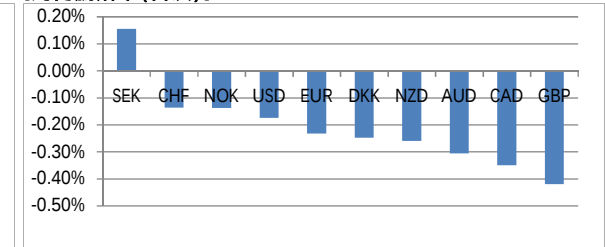
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
11月7日	09:30	豪 貿易収支	9月 A\$5050m	A\$5926m
	16:00	独 鉱工業生産(季調済/前月比)	9月 -0.4%	0.3%
	17:30	独 マーケット建設業PMI	10月 -	50.1
	21:00	英 BOE金融政策決定会合 政策金利	- 0.75%	0.75%
	21:30	英 カーニーBOE総裁 講演	-	-
	22:30	米 新規失業保険申請件数	2-Nov 215k	218k

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【マーケットインプレッション】ドル円は足場を固めて来ている

10月末のBrexit及びFOMCに対し多くの企業が事前にケアをしていたことで、11月初旬の為替取引量は落ち着いたスタートの印象だ。ドル円はやっとの思いで109円台に乗せてきたが、市場参加者は一段のドル買いには慎重だ。ただ、短期的には109円付近のレンジ推移は継続が予想されるものの、悪材料は減っており先日のISM非製造業の様に予想比良好な結果を確認しながらじりじりと水準を切り上げてくることを予想する。108円台半ばではドル買いを推奨したい。

他資産動向に目を向けると主要株価指数が相次いで直近高値を更新している。特に米株市場では金融緩和の構図が薄れ始めている。30日のFOMC後のパウエルFRB議長の会見で今回で利下げが打ち止めとなる可能性を示唆するも、株式市場に落胆は広がらず、同日の米株は反発上昇。一時は米中貿易摩擦懸念により、米経済後退が心配されていた。足許、たしかに米国の製造業は低調だが、雇用は堅調で非製造業も好調だ。更に米中対立が緩和したことで、金融緩和に頼らずとも株高が保てるほどに投資家心理は回復してきている。また、直近高値を更新していることから、戻り待ちの売り圧力がなくなったことで相場を一段と後押しし、株式市場は堅調推移が予想される。債券市場も月末月初は株式市場に比べ出遅れてはいたが、米10年金利も1.85%付近まで上昇してきており、今週の入札を無難に通過しそうだ。

ドル円のチャートに目をやると200日移動平均が(7日:109.04)にあり、日足のローソク足がしっかり抜けることが出来るのか注目が集まっている。また、直近高値(30日:109.28)や8月1日の109.32の更新への関心は高い。ただ一方で、年初来高値(4月25日:112.40)と直近最安値(8月26日:104.46)とのフィボナッチ数(61.8%戻し:109.34)が市場の居心地の良さを示していることもあり、直近高値を更新しても上値を追う展開にはすぐにはならなさそうだ。日足の一目均衡の雲の上限も11月末に108円台まで切り上げてきており、しばらくは足場固めと言ったところではないだろうか。(大庭)

東京	東京時間のドル円は109.15レベルでオープン。米中貿易協議における融和ムード等によるリスクオン地合いにドル円は109.18付近まで上昇。一方、この水準では実需のドル売りも意識され、じりじりと値を下げる展開。一時109.01付近まで下落した後、結局109.03レベルで海外へ渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、109.03レベルでオープン。目新しい材料に欠けるなか、109円を挟んで狭いレンジで推移し、109.02レベルでNYへ渡った。ボンドドルは、1.2885レベルでオープン。本日から英議会在野が5週間ほど解散となり、材料不足で横ばい推移に終始。1.2888レベルでNYに渡った。(ロンドン・ブリッジ 00531 444 179 マクルヒル)
ニューヨーク	米中貿易協議進展期待から、海外市場で109.19まで上昇したドル円は、その後は本邦実需の売りに反落し、109.02レベルでNYオープン。本日は主要な米経済指標の発表が予定されていない中、朝方は、狭いレンジでの推移が続く。しかし正午前になると、大手通信社が、トランプ政権の高官の話として、「米中首脳級の合意署名が12月にずれ込む可能性」、「貿易戦争の打撃を終わらせるためのフェーズ1の協議が合意に達しないこともある、デールなしよりもある可能性が高い。」と伝えたことから、108.81まで下落する。その後やや戻す局面もあったものの、米中貿易協議に対する楽観的な見方が後退したこと、ドル円は上値を押さえられ、108.99レベルでクローズした。一方、海外市場で1.1067まで下落したユーロドルは、独9月製造業受注や、独サービス業PMIが予想を上回ったことから1.1093まで戻し、1.1090レベルでNYオープン。朝方は、狭いレンジでの推移が続くが徐々にドル買いが強まり1.1071まで下落する。正午前になり、前述の米中貿易協議に関するヘッドラインを受け、ドル売りが一旦強まり1.1079まで戻す局面もあったものの、株式市場が軟化する動きを受けたユーロドルの売りにユーロドルも連れて1.1065まで下落し、1.1066レベルでクローズした。(NY井上)

	竹内	加藤	関	光石	岡本	上野	尾身	原田	玉井	ブル	ベア
Today	ベア	ベア	ベア	ブル	ベア	ブル	ブル	ブル	ブル	5	4
Week	ベア	ベア	ベア	ブル	ブル	ブル	ベア	ブル	ベア	4	5